

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ライツソンス公立小学校通学バス整備計画」および
「ニュー・フォレスト公立学校幼稚部・小学部通学バス整備計画」
贈与契約署名式**

2019年1月22日、ジャマイカ教育・青年・情報省において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ライツソンス公立小学校通学バス整備計画」及び「ニュー・フォレスト公立学校幼稚部・小学部通学バス整備計画」の贈与契約署名式が開催されました。

山崎大使は、挨拶の中で、今回の両計画は、ジャマイカの若者が将来に希望をもてるような教育環境づくりに協力するものであり、贈与契約式を迎えることができ、光栄であると述べました。また、ジャマイカは、経済・社会的発展のポテンシャルが高く、日本政府として今後も各学校、教育・青年・情報省をはじめ様々な関係者とともに、ジャマイカのより良い教育環境の実現に向けて一層協力していきたいと述べました。

セント・トーマス県のライツソンス公立小学校では同校全児童の約80%、マンチェスター県のニュー・フォレスト公立学校では同じく約78%が山間部及び徒歩圏外から通学しています。両校ともに、公共交通システム等が不十分なため、日々の通学に大きな問題を抱えています。

今回のプロジェクトでは、両校それぞれに67,177米ドルが供与され、通学バスが導入されます。この援助によって、児童たちが毎日安全に学校に通学でき、教育環境の改善や地域全体の学力向上に繋がることが期待されています。

今般の署名式には、被供与団体である両校の代表、デンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官、マイケル・スチュワート議員、国家教育基金等の教育関係者、学校関係者、報道機関係者などの来賓が出席しました。

ジャマイカ側を代表して挨拶したデンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官は、長年にわたる日本政府のジャマイカに対する協力を極めて高く評価していると述べるとともに、教育分野における支援、特に、ジャマイカにおける通学バスの整備は教育界全体の喫緊の課題であるとして、日本のこの分野への協力に対する心からの感謝の意を述べました。



本支援の意義を述べる山崎大使



日本の支援に感謝を述べるデンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官



署名する山崎大使とエベット・ボンフィールド・ビーチャー・ライツソンス公立小学校校長



左から国家教育基金ハリス氏、デンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官、山崎大使、ビーチャー校長、ベックフォード理事長、リンジー副校長（前列）ライツソンス公立小学校児童



署名する山崎大使とシャロン・アンダーソン・ニュー・フォレスト公立学校校長



左から国家教育基金ハリス氏、デンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官、ニュー・フォレスト公立学校児童、山崎大使、アンダーソン校長、スチュワート議員、シング理事長



歌で日本への感謝を披露したニュー・フォレスト公立小学校の児童代表



式典で劇を披露するライツォンス公立小学校の児童代表



デンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官と山崎大使



式典参加者で記念撮影